

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実習Ⅲ		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

<p>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</p> <p>保育実習Ⅰを修了したものが選択実習として履修する。指定された福祉施設で概ね10日間（60時間以上90時間未満）の実習を行い、福祉施設の役割、機能、内容等を実践現場における体験を通して学習する。既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。保育士に必要な職業倫理と子どもの最善の利益の具現化について学ぶ。学習内容・課題を明確化するとともに、保育士としての知識・技術を体験的に習得するとともに、自己の適性を確認し、卒業後の進路選択に活かす。なお、本科目の履修は「保育実習ⅠA」「保育実習ⅠB」の単位をすべて修得済みであることが必須の条件である。</p>
--

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	児童福祉施設等の生活・支援に参加し、子ども（利用者）への理解を深めさせるとともに、施設等の役割・機能とそこでの保育士の職務と役割について学ばせる。以上の内容を宿泊又は通いの実習形式で行う。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	児童福祉施設の職員（実習指導担当）としての実務経験（19年）に基づき、社会的養護施設等で使用する実際の資料を使用し、具体的実習場面を想定するロールプレイなど実践的な事前・事後指導を実施している。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第2回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第3回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第4回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第5回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第6回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第7回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第8回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第9回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第10回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第11回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第12回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第13回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>

第14回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第15回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

①保育実習Ⅲにおける事前・事後指導の授業を履修して課題に取り組む。②「実習生個人票」「評価票」「出勤簿」「誓約書」「実習計画書（課題と抱負）」を作成する。③実習計画を作成して施設実習に取り組み、実施後に記録を作成する。④保育実習Ⅲ終了後に実習を振り返り「自己評価票」「実習報告書」を作成する。上記について1日あたり30分程度の事前事後学習を行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

①提出書類については添削して評価を行い、授業内で返却して解説し、改善を図らせる。②作成した「実習記録」を配属施設の担当職員が添削してコメントを記入して学生にフィードバックを図る。③配属施設の評価を学生に開示してフィードバックを図る。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	選択施設実習を通して保育士になるための資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	選択施設実習を通して現代の福祉・保育現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力と豊かな表現力を習得できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	選択施設実習を通して児童福祉施設での養護・保育に主体的協働的に携わることができる幅広い人間力を体得できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

配属施設における評価を元に施設実習全体の基準を平準化して総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育士をめざす人の福祉施設実習〔第2版〕愛知県保育実習連絡協議会・「福祉施設実習」編集委員会 編 編集代表：伊藤貴啓・小川英彦	9784860153083
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		